

CODE : 7771



NI NISSEY GROUP

会社説明資料

2014年11月



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame



1. 会社概要、事業紹介

2. 当社の特徴

3. 今後の戦略

会社概要

- ◆ 社 名 : 日本精密株式会社 (Nihon Seimitsu Co., Ltd.)
- ◆ 住 所 : 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル8
- ◆ 設 立 : 1978年8月
- ◆ 上 場 : 東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
- ◆ 代表取締役 : 岡林 博
- ◆ 事業内容 : 時計バンドの製造、販売, メガネフレームの製造、販売, イオンプレーティング (表面処理加工), 釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
- ◆ 連結子会社 : 3社、関係会社1社
- ◆ 従 業 員 : 2,809人(連結)
- ◆ 決 算 : 3月
- ◆ 資 本 金 : 1,565百万円
- ◆ 発行株式数 : 15,423,999株
- ◆ 株 主 数 : 1,184名



2013年9月30日現在

経営理念

経営理念

夢を持って、美を求め、形にする。

D R E A M .

B E A U T Y .

F O R M .

私たち日本精密は「夢・美・形」の追求によって、はじめて輝く明日がやって来ると信じています。「実現できると信じる心」が、企業の継続と社員の幸せ、そして社会への貢献を実現する原動力となります。

行動指針

発展、安定、幸福、安全

- 1.常に発展する企業である。
- 2.永く安定した企業である。
- 3.全社員が幸福感を持てる。
- 4.安全でクリーンなもの作りの実現。



プロダクト紹介 時計関連

金属時計バンド・ベゼルの最大手

国内メーカーはもとより、スイスの一流メーカーなど多くの海外有名メーカーに自社製品を販売をしており、揺るぎない信頼と実績を確立。

時計バンドの2分野

- ◎ 当社の主力分野。セラミックス、チタニウム、超硬素材、プラチナなど高度な加工技術と品質管理が要求される素材を用いて製造した高付加価値製品。
- ◎ 国内メーカーコスト削減傾向に対応するべく、香港現地法人を中心にステンレススチール製やウレタン製の低価格品を仕入れ・販売。

時計ベゼル

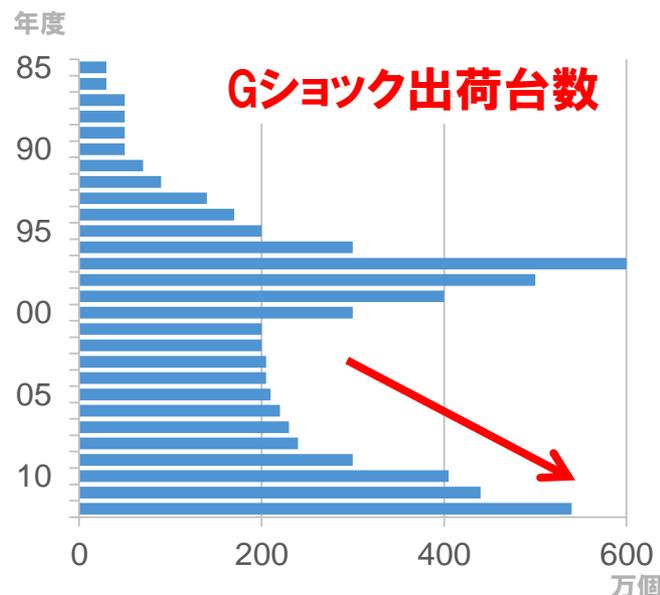
- ◎ カバーガラス(風防)をケースに固定するリング状の部品を製造。

当社の競争優位性

- ◎ 開発主導型の企業として技術力をベースとした提案力。
- ◎ ノンニッケル超硬材や形状記憶合金などの新素材、新しいアジャスト機構など絶えず業界のパイオニアとして有する開発力、技術力、品質管理能力。
- ◎ 大口顧客であるカシオ・グループからの信頼と、同社製品向け部品における国内トップクラスの受注実績。
また、信頼・実績に基づく、今後の同グループからの受注拡大。

※右図は、朝日新聞2013/4/13の記事より当社作成。

※Gショックの全てに当社製品が使用されていることを示すものではありません。



プロダクト紹介 メガネフレーム（自社製造製）

チタニウムフレーム製造のスペシャリスト

1994/4 メガネフレーム事業は宏和エンジニアリング(株)と合併し本格参入。

1994/11 NISSEY VIETNAM CO.,LTD.の設立により本格稼働を開始。

時計バンドの製造により培った技術力をベースにチタニウム素材に着目し、チタニウム製のメガネフレームのみを開発・製造し、世界市場に向けた事業の拡大を図っております。

チタニウムの特徴：メガネフレームの最適素材

- ◎軽量で錆びにくく、かつ弾力性を有する
- ◎金属アレルギーが少ない

当社の競争優位性

- ◎チタニウムに関する加工、表面処理などの高度技術。
- ◎ベトナム工場で生産することによるコスト競争力。
- ◎多品種・少量生産・短納期など品質管理を含めた顧客ニーズへの対応力。
- ◎ポストチタニウムを睨んだ、カーボンファイバー製フレームなど新素材フレームの開発力。



プロダクト紹介 ブランド・メガネフレーム

子会社(株)村井による、ブランド・メガネフレームの企画、販売、輸出

MURAI

PRODUCT POLCY

お客様の満足を得ること。
それがMURAIの願いです。

2007/10 子会社化

企画・開発・デザイン・販売に特化したメガネフレームの
マザーファクトリー。

生産は、日本・ベトナム・中国の協力工場に委託。

数多くのブランドを有し、デザイン性・高品質に拘った
メガネフレームを販売。

◆ライセンスブランド

- TUMI
- CHARROL
- M MISSON
- JILL STUART
- JILL STUART NEWYORK
- VIKTOR & ROLF
- LEVTS EYES
- SONIA RYKIEL
- 23区
- formMAX

◆ハウスブランド

- INBEAUTY
- FUGA

会社概要

商号：株式会社 村井

設立：1971年9月

事業：眼鏡枠・サングラスの企画、販売および輸出入

代表：代表取締役会長 岡林 博

代表取締役社長 白坂 敬次

住所：福井県坂井市坂井町福島9-1-1

プロダクト紹介 その他製品

高度な技術を活かし幅広い分野で活躍

フィッシング部門

当社の精密なチタニウム加工技術は、釣竿用部品の軽量化にも活かされています。
アウトドア志向の高まりとともに、釣具部品でもチタニウム製品の需要が広がっています。



イオンプレーティング

真空装置の中でチタニウムをイオン化し、窒素・炭化水素と反応させ、色を付ける表面処理技術。
従来のメッキ技術に比べ、耐久性・硬度において優れた特徴を持ち、顧客より高い信頼と評価を得ております。

その他製品

◎暗証番号入力テンキー式電子ロックの一貫製造

金庫・ロッカーなど施錠が必要なもの全てに置き換えることができます。

◎静電気除去機の製造

小型・軽量・安全設計で信頼性の高い圧電トランス方式を採用し、離れたところからイオンを効率よく排出し、ハイスピード除電が可能です。



当社グループの事業構造

グループ・コントロール

- ・一貫した経営管理によりコスト削減
- ・企画開発
- ・販売計画

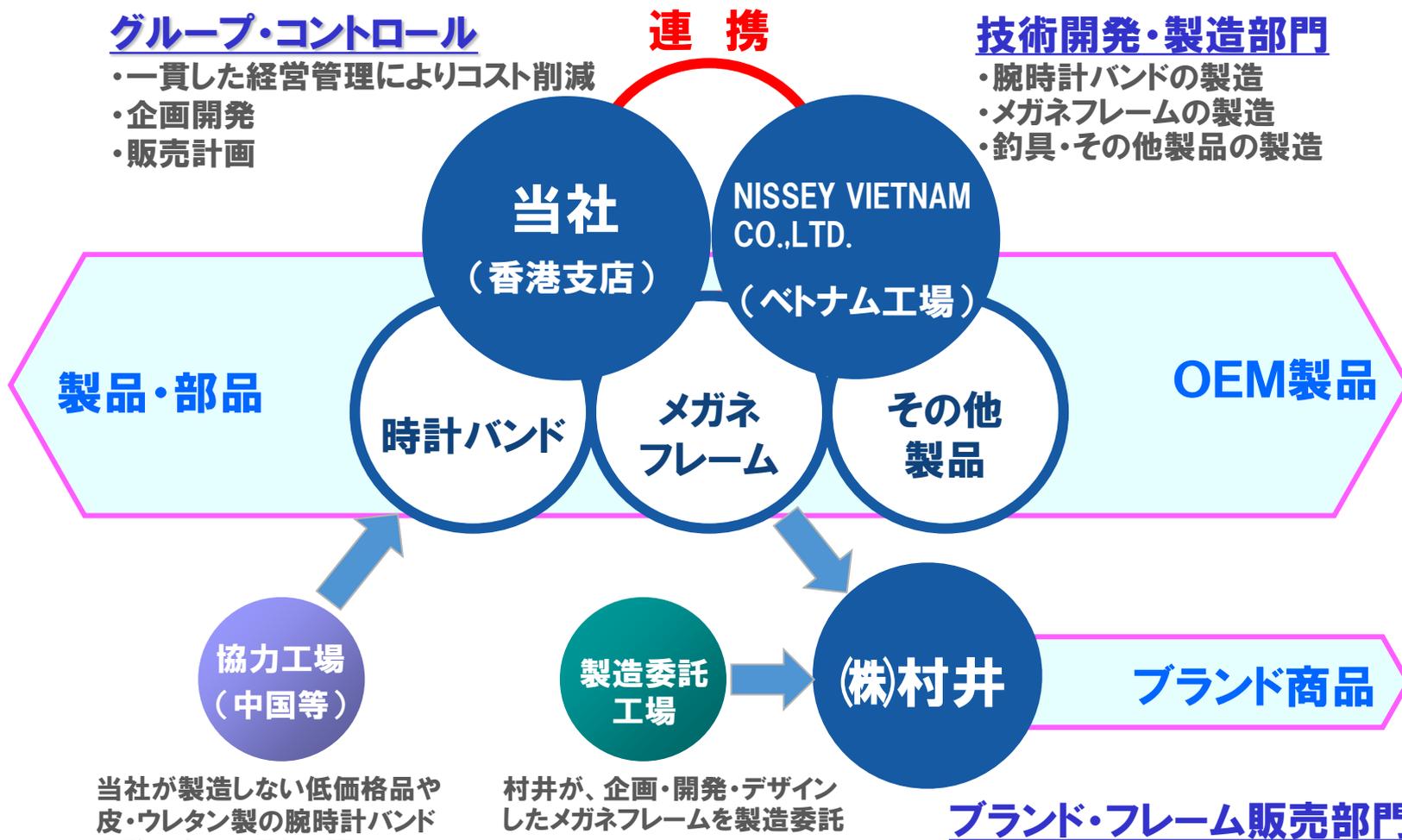
連携

技術開発・製造部門

- ・腕時計バンドの製造
- ・メガネフレームの製造
- ・釣具・その他製品の製造

国内外の腕時計メーカー

小売店チェーンなど得意先



当社が製造しない低価格品や皮・ウレタン製の腕時計バンドを香港支店を通じて調達

村井が、企画・開発・デザインしたメガネフレームを製造委託

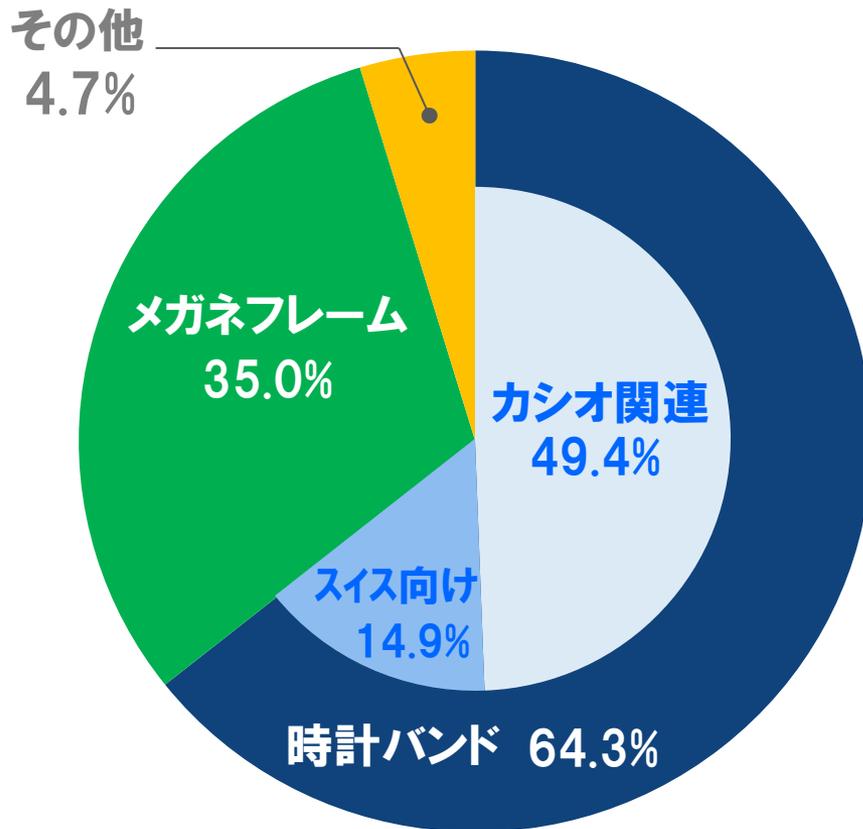
ブランド・フレーム販売部門

上記の他、2014年初より、カンボジア工場の操業開始を予定しております。

売上構成比（品目別、地域別）

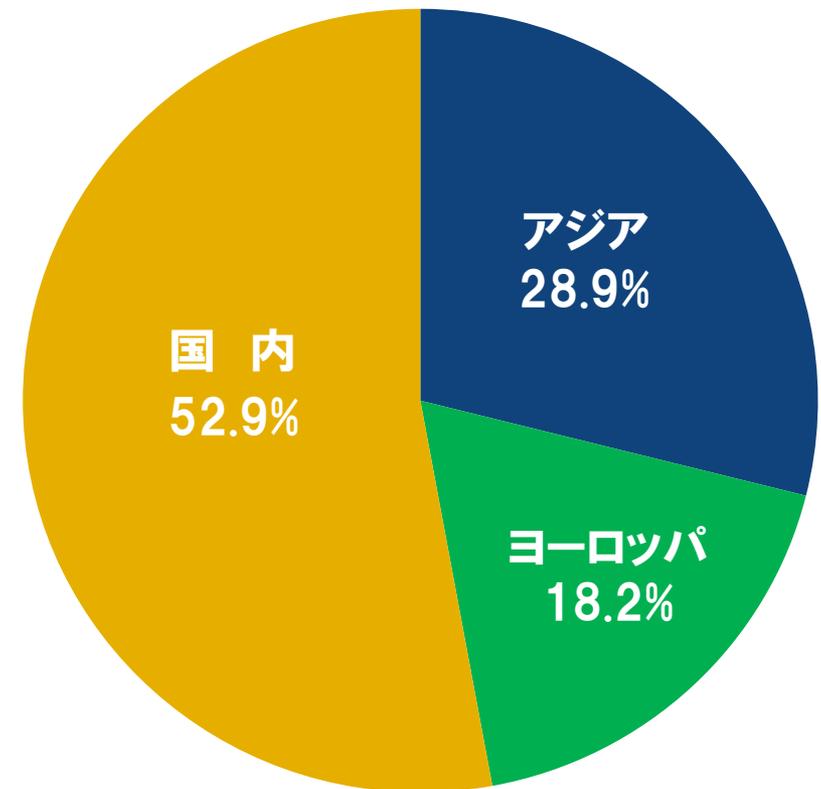
売上構成比（品目別）

2013/3期 実績



売上構成比（地域別）

2013/3期 実績



※カシオ関連には、カシオ製品向け部品の製造企業への売上高も含む。

業績の推移



期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期 (予想)
売上高	5,003	4,193	5,180	6,002	5,585	6,547
営業利益	144	△39	207	334	103	230
経常利益	150	△56	156	295	105	196
当期純利益	43	△52	172	296	90	175

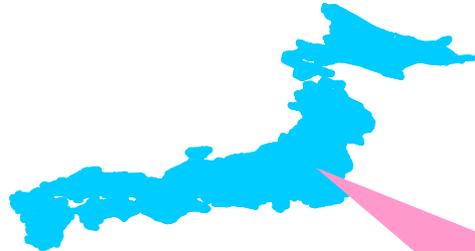


1. 会社概要、事業紹介

2. 当社の特徴

3. 今後の戦略

当社の特徴



日本企業として、ASEANへ最も早く進出し、
一貫生産体制を構築した唯一の企業

日本精密の6つの人材力を世界に発信。

世界に誇る“日本のものづくり技術”
を世界市場で勝てる事業へと革新

3つの特徴

先見性

CHINA + 1の先駆者

コスト競争力

高品質製品 + 世界で戦える低価格

技術力

一貫生産体制による高付加価値製品



当社の特徴 ～ 日本のものでづくり技術を世界へ～

チャイナ・リスクを予見し、ASEAN(ベトナム)に生産拠点を移管。世界市場で勝てるコスト競争力を確立。

1987年 10月 香港支社を設置

1994年 11月 “NISSEY VIETNAM CO.,LTD.”設立(ベトナム・ホーチミン市)

2000年 3月 “NISSEY VIETNAM CO.,LTD.” ISO9001取得

5月 ベトナム新工場竣工、時計バンドの現地生産開始

8月 秩父工場操業停止

2001年 7月 杉戸工場閉鎖、イオンプレATINGをベトナムへ移管

2013年 6月 “NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.”



NISSEY VIETNAM CO.,LTD. 1994/11設立

現在の生産拠点。第一・第二工場を構え、時計関連、メガネフレーム、その他製品の製造を行い、熟練した現地技術者が生み出す高品質のOEM製品として、国内外のメーカーに提供。



NISSEY CAMBODIA CO.,LTD. 2014より操業予定

今後のASEAN地域での事業拡大に向けて設立。

ベトナム工場とのシナジー創出により、今後の当社グループの事業拡大に貢献。



日本精密 香港支店

ベトナムでは製造しない低価格帯の部品を、低コストで中国より調達し、顧客に販売。

当社の特徴 ～ 日本のものでづくり技術を世界へ～

ASEAN地域で、現在は唯一と言われる一貫生産体制を構築した企業として、高付加価値製品を製造。

一貫生産体制を構築し、高付加価値製品を提供

現在、第一・第二工場を構え、金型・プレス・溶接・研磨・表面処理など一貫生産体制を約2,600人のベトナム人が支えています。

金属製品へのイオンプレーティング技術、多様な装飾オーダーに重要なアクセントを持たせるレーザー加工技術など、熟練した現地技術者が「高付加価値製品」を生み出しています。

「金型製作から表面処理まで全てを一貫生産で行えるのは、ASEAN地域では“日本精密だけ”との評価も、某メーカー様から頂いております。



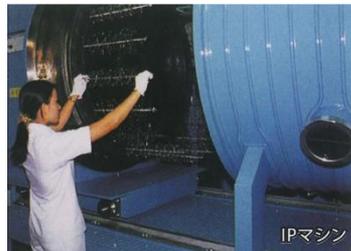
金型製作機械



プレス加工ライン



研磨部門



IPマシン



組立部門

ISO9001取得

ベトナム現地法人は、2000年3月、BVQI(英国)により、国際品質保証企画「ISO9001」を取得。英国、米国、ドイツ、フランス、スイス、日本で認証されています。

契約、デザイン開発、パイロット生産、購買から大量生産、納品に至るまで製造の全ての段階で「ISO9001」品質管理システムを効率的かつ全面的に実施しています。





1. 会社概要、事業紹介

2. 当社の特徴

3. 今後の戦略

当社を取り巻く環境

顧客動向・ニーズ

- ◆ 生産の2極化体制への対応
国内生産: 高付加価値商品、少量多品種の生産
海外生産: 低価格、大量生産
- ◆ 中国でのカントリー・リスクの軽減 (CHINA+1)
- ◆ 今後の海外生産拠点の新設・移設への対応
- ◆ 高品質製品の長期的な安定的供給
- ◆ 製造原価の低減に向けた、さらなる部材コスト削減

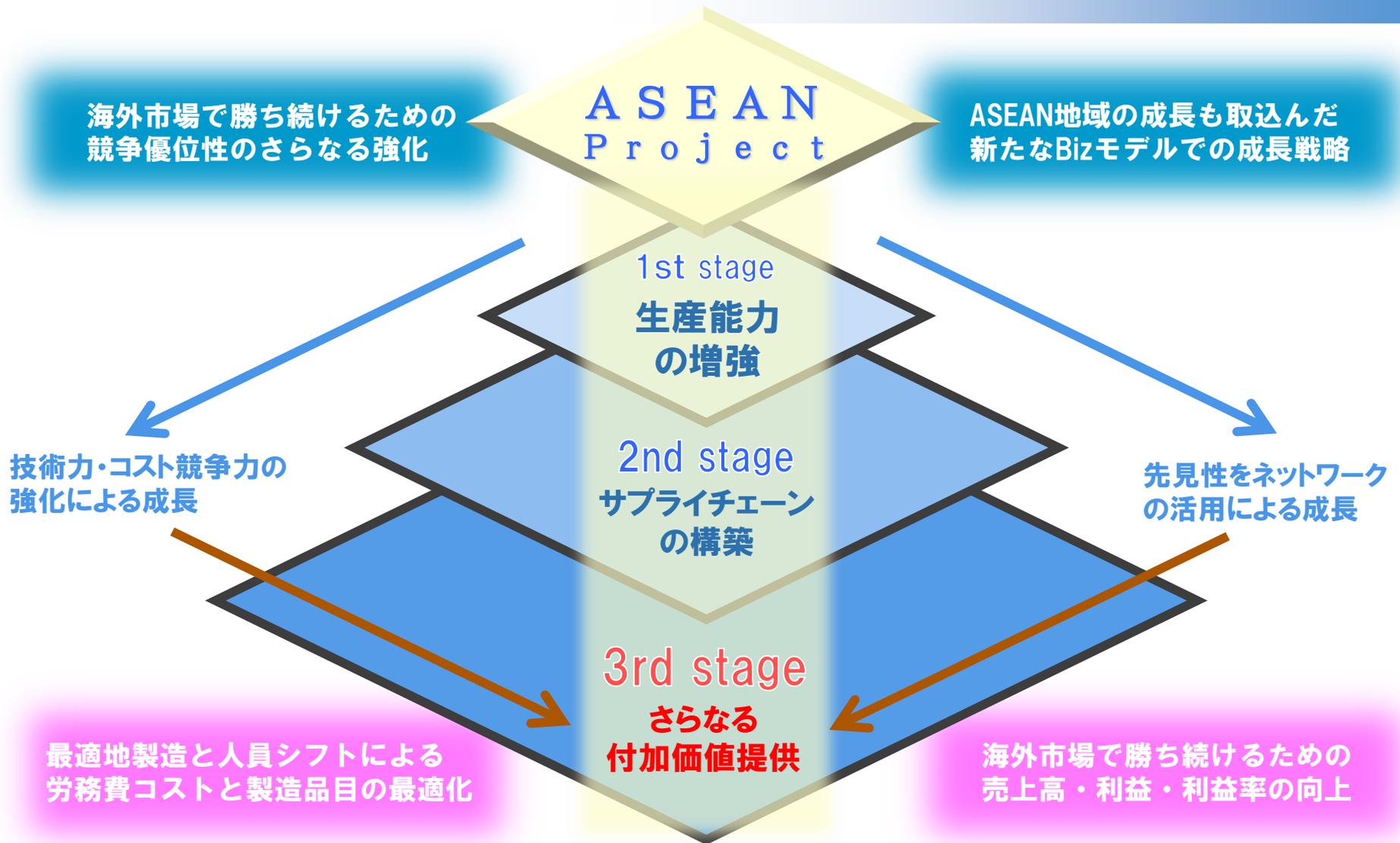
当社のテーマ

- ◆ 顧客ニーズに対応する提案・生産・調達力の強化
国内: 技術・品質管理力の向上、トータル計画の提案
海外: 海外の委託工場・協力工場の拡充
- ◆ ASEAN地域での生産体制の拡充
- ◆ 海外でのサプライチェーン構築
- ◆ 一貫生産体制の更なる強化
- ◆ 生産技術の強化(自動化・半自動化)
- ◆ コストの低減に向けた新たな戦略推進

既存の体制・ベトナム工場での生産による対応では不十分

顧客・事業・市場の動向を睨み、新たな戦略構築が必要

当期より『ASEAN Project』を策定・スタート



1st Stage

カンボジア新工場を設立



名 称	NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.
操業予定	2014年 年初から
所 在 地	Dragon King SEZ, Prey Angkunn Commune, Bavet City, SvayRieng province, Cambodia ドラゴンキング SEZ、カンボジア国スバイリエン州 バーベット市プレイアングン地区
代 表 者	岡林 博
資 本 金	5千万円
出 資 者	日本精密株式会社(100%)
決 算 期	12月31日
事業内容	時計外装部品等の製造、販売

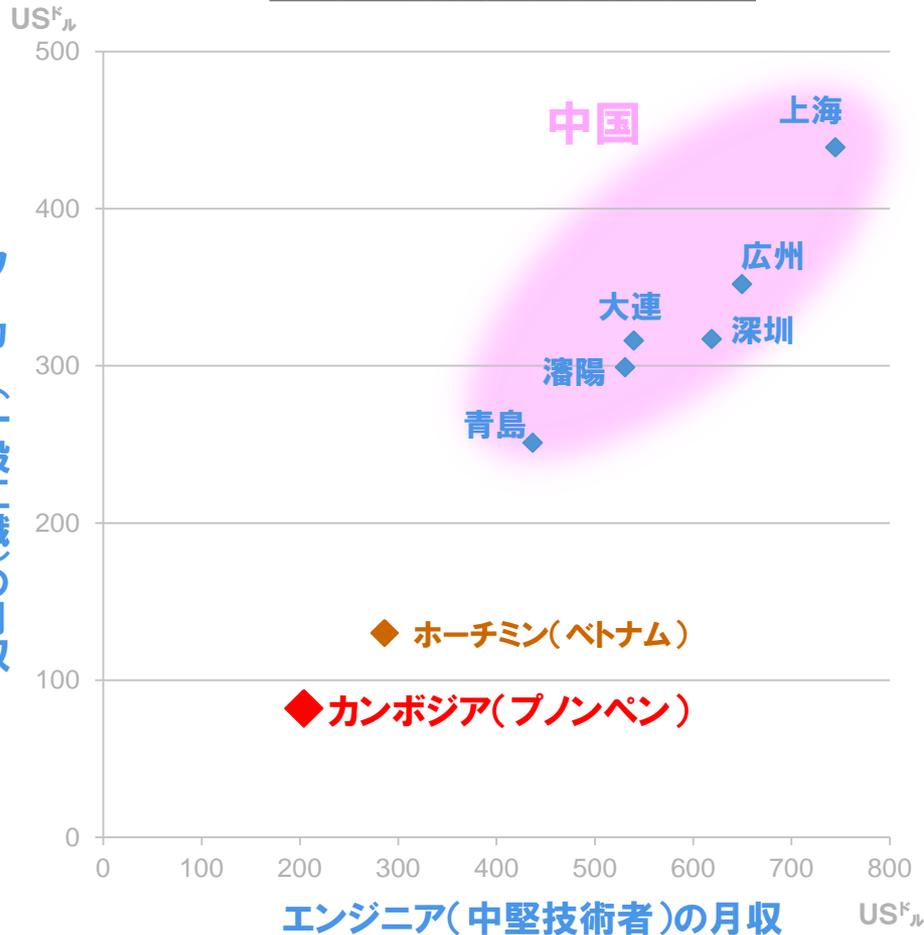
Point

- ① **ベトナム工場とのシナジーによる早期稼働**
ベトナム工場の技術者を通じ、加工技術、製造工程を迅速かつ正確に移管。
- ② **物流コストの大幅な削減**
既存ベトナム工場と地理的に近い距離にあり、他の地域に比べて物流コストの大幅削減が可能。
- ③ **主要客先からの要望**
主要客先からのASEAN地域での事業拡張戦略を要望に対応することで、一層の関係強化及び事業拡大が可能。
- ④ **主要客先からの資金面の協力**
カシオ計算機(株)は、今後、同工場で生産されたから高品質製品が供給されることを評価し、資金面での協力。

1st Stage

カンボジア新工場を設立 ～ 労務コストの低減

各国の人件費(平均月収)比較



出所:日本貿易振興機構 海外調査部

『アジア・オセアニア主要都市・地域の投資関連コスト比較』

なぜ、カンボジアか

× 中国

コスト・その他の問題で内外の製造メーカーの流出が続く

- ・人材確保: 今後は困難
- ・人件費: 年率10%以上の上昇

○ ベトナム

製造拠点として重要性は増すものの、新たな対応が必要

- ・人材確保: 勤勉で優秀な若年労働層は豊富
- ・人件費: 現在は中国の約1/2
今後は、年率2桁以上の上昇

◎ カンボジア

新たな製造拠点として、今後ますます重要性が増す

- ・人材確保: 豊富な若年労働者が存在
- ・人件費: 現在はベトナムの7割、中国の1/4
今後は上昇する見込みであるものの依然として比較優位性は高い

1st Stage

カンボジア新工場を設立 ～ 労働集約型製品の高利益化

現在はベトナム工場で製造している“絞りベゼル”を
今後はカンボジア工場に順次移管。

顧客からの需要増に対応しつつ、
労働集約型製品“絞りベゼル”の
利益率を向上を図る。

2016～
現在は他社へ発注されて
いるベゼルの取り込み

2015～
ベトナム工場から絞りベゼルの
生産を一部移管

2014～
ベトナム工場とのシナジー
による早期稼働

月産
3～4万個

月産
10万個

月産
25万個

さらに、他社への発注分を
取り込み、生産規模を実現
することで、低い労務コスト
と相まって利益向上を目指す。

※現在のベトナム工場：月産18万個強



絞りベゼル

需要増に対する
生産量力の拡大

労働集約型製品の
集約による利益率向上

生産量の拡大による
利益額・利益率向上

1st Stage

基幹工場であるベトナムの強化

今後もASEANプロジェクトの核となるベトナム工場の強化に向けて、以下の施策を実施。

① 半自動化・オートメーション化

・今後のさらなる生産能力の拡大、生産効率の向上、利益率アップに向けて自動化を推進。

→ 当期の期初から既に設備投資を開始

② 金型製作の強化

・金型製作の技術・生産効率をさらにアップ

・カンボジア工場用も一括製作し、経営効率をアップ

→ 今後の製造品目・数量の増加へ対応すると同時に、原価率を低減

③ 高度技術の強化、高付加価値製品の製造

・より高い付加価値製品である『鍛造ベゼル』を製造

・表面処理(IP、アルマイトなど)の技術をさらに強化

→ 市場・顧客のニーズに応えた高付加価値製品の製造

④ 新規製品の製造

・新たに『美錠』など時計関連の製品を製造

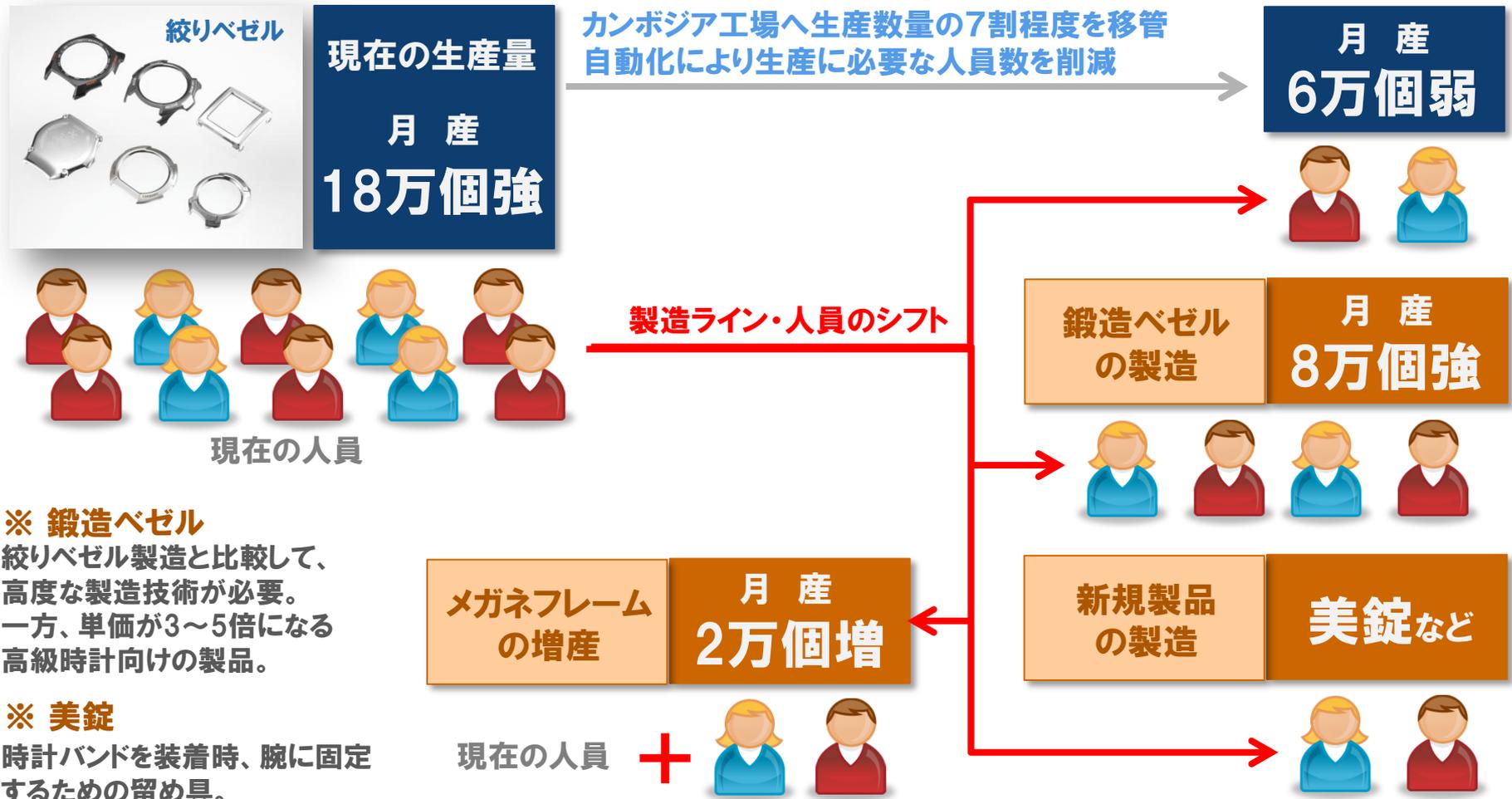
→ 顧客のニーズに応え、新たな製品分野にも進出



1st Stage

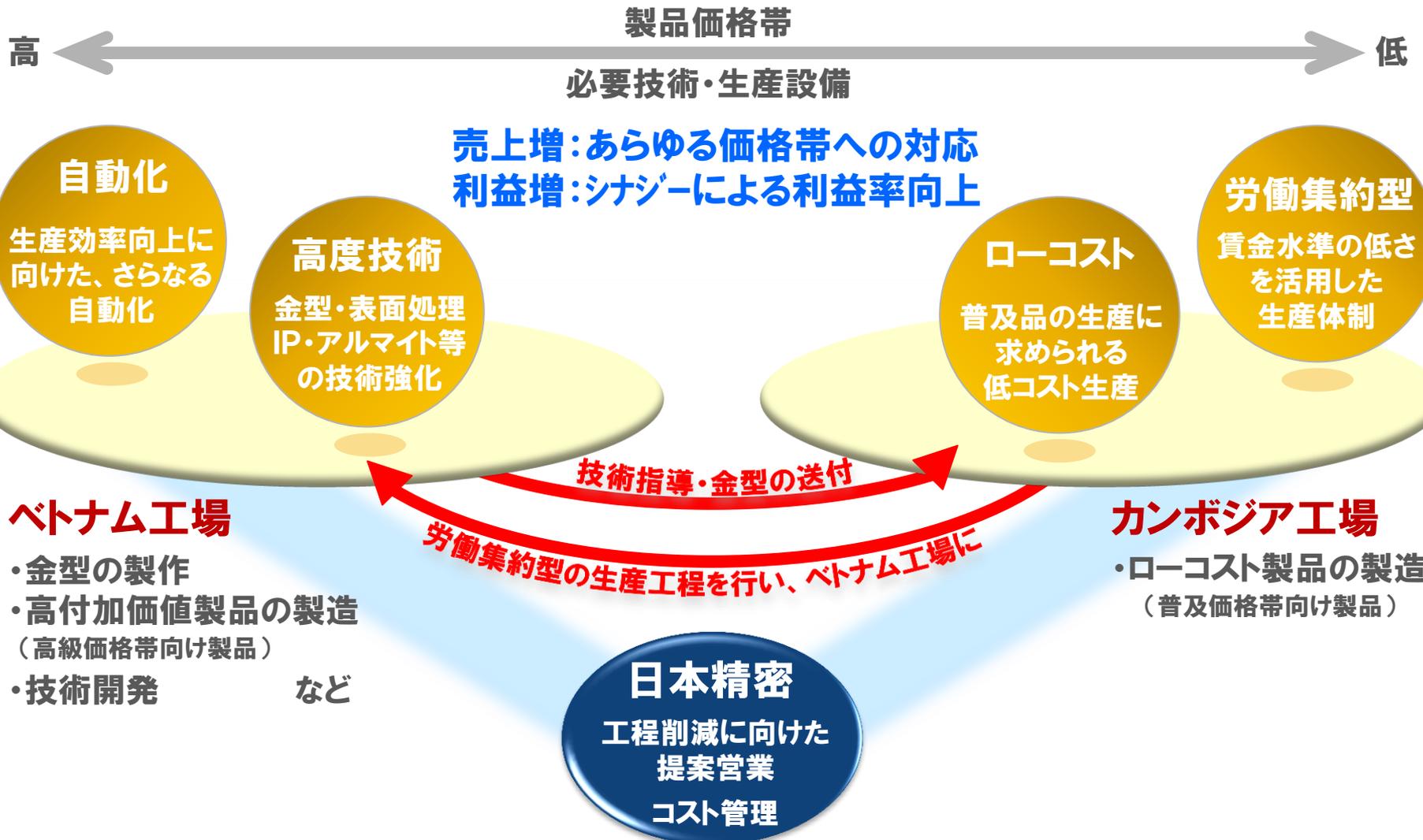
基幹工場であるベトナムの強化 ～ 利益向上への取り組み

労働集約型の製品の製造をカンボジアに移管。製造ライン・人員のシフトにより利益率を向上。



1st Stage

ハイエンド製品～ミドル・ローまで



2nd Stage

サプライチェーンの構築 ~ ASEAN優位の背景



中国内工場の諸事情

チャイナ・リスクの回避

日系のセット・メーカー等が、チャイナ・リスクを回避するため生産拠点戦略をASEANにシフト。
関連部品を生産する中国工場もASEAN移転が必要に。

コスト削減への対応

年々、中国の平均賃金が上昇。
より一層の製造コストを削減を実現するため、ASEANへの工場移転を検討。

外資系だけでなく、相次いで中国系企業も海外移転

中国から移転

縫製

部品

加工

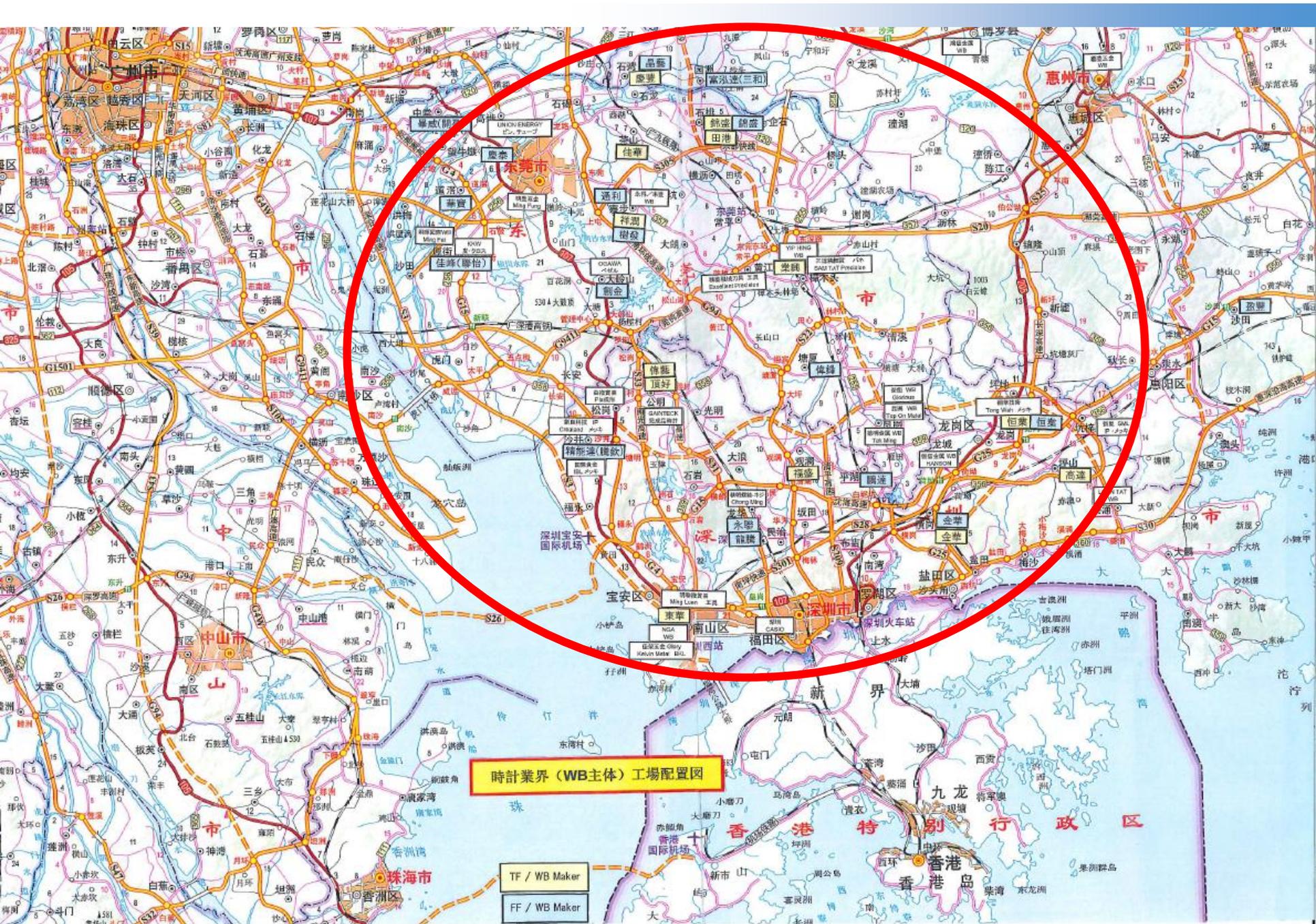
アッセンブリ

最終製品

当初は衣料品の縫製工場等から始まり、
現在では各種工業部品の製造工場も次々と海外移転。

さらには、最終製品のセット・メーカーの工場も、ASEANを中心とした地域への海外移転が始まる。





時計業界 (WB主体) 工場配置図

TF / WB Maker
FF / WB Maker

2nd Stage

サプライチェーンの構築 ~ カンボジアへのメーカー誘致

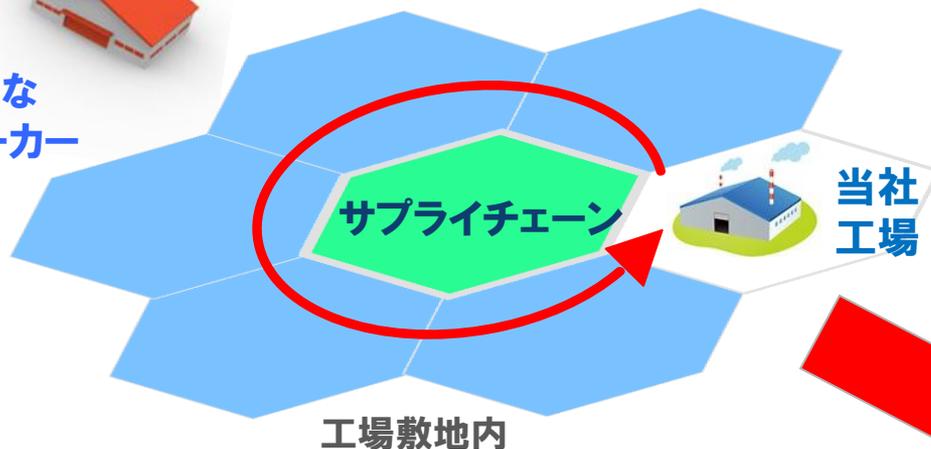
腕時計部品



129,600m²* の広大な当社のカンボジア工場敷地内に自社工場の他、現在は中国内にある当社の協力工場等を誘致

*129,600m²: 当社ベトナム工場の約5.7倍(東京ドームの約2.8倍)の面積

①時計製造に必要なあらゆる部品メーカーを敷地内に誘致



②当社工場を中心としたサプライチェーンを構築

③当社(カンボジア法人)が顧客の需要を取りまとめ一括受注

④検品業務等も含め顧客に一括して販売

顧客企業

現在も、当社が製造しない部品の調達・販売は香港支店で行っているが、それをカンボジアに集約して効率化を図る。さらには取扱量の拡大により、収益増を目指す。

3rd Stage

さらなる付加価値提供～ アッセンブリした製品納入

サプライチェーン内で主要部品が調達。調達した部品を同敷地内で組立て(アッセンブリ)後に出荷することにより、より高い付加価値の提供と収益の向上を図る。



現状の枠を超えた収益の拡大

カンボジアで構築したサプライチェーンを利用し
敷地内でアッセンブリ(組立て)後に顧客へ

ASEANプロジェクトの推進による成長戦略を推進

ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



本社(埼玉県川口市)

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など、全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井:連結子会社

エヌエスジー(株):連結子会社

香港支店

ベトナムでの製造不可能な部品を低コストで中国より調達。また営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造
- ◎メガネフレームの製造
- ◎釣り具部品等の製造 他

中・高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎時計外装部品等の製造

普及品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、
一大サプライチェーンを構築

ASEANプロジェクトの推進による成長戦略を推進

カシオ向け

絞りベゼル(自社製品)

現状(2014/3期見込)

月産18万個強

目標(2018/3期計画)

月産30万個強

ベトナム 6万個弱
カンボジア25万個

鍛造ベゼル(自社製品)

生産なし

月産8万個強

バンド他(自社製品)

約7億9千万円

約9億5千万円

時計関連商品(他社製品)

約17億円

約25億円

その他時計メーカー向け

約6億9千万円

約7億8千万円

メガネフレーム

自社製品

年産35万本強

年産50万本以上

株村井

17億8千万円

24億円

その他製品

フィッシング・パーツ他

約3億円

約3億6千万円

営業費用に関しては、カンボジア分は純増、ベトナムは人員増はないものの賃金上昇等により増加、日本については増加するものの売上連動ではないため影響は軽微、村井は売上増に伴う仕入原価・販促費等が増加することを見込んでおります。

5年後の利益目標

連結

単位:百万円	2013/3	2014/3 今期見込
売上高	5,585	6,547
■ 時計関連	3,350	3,923
■ メガネフレーム	1,953	2,322
■ その他	282	301
営業利益	103	230
経常利益	105	196
当期純利益	90	175

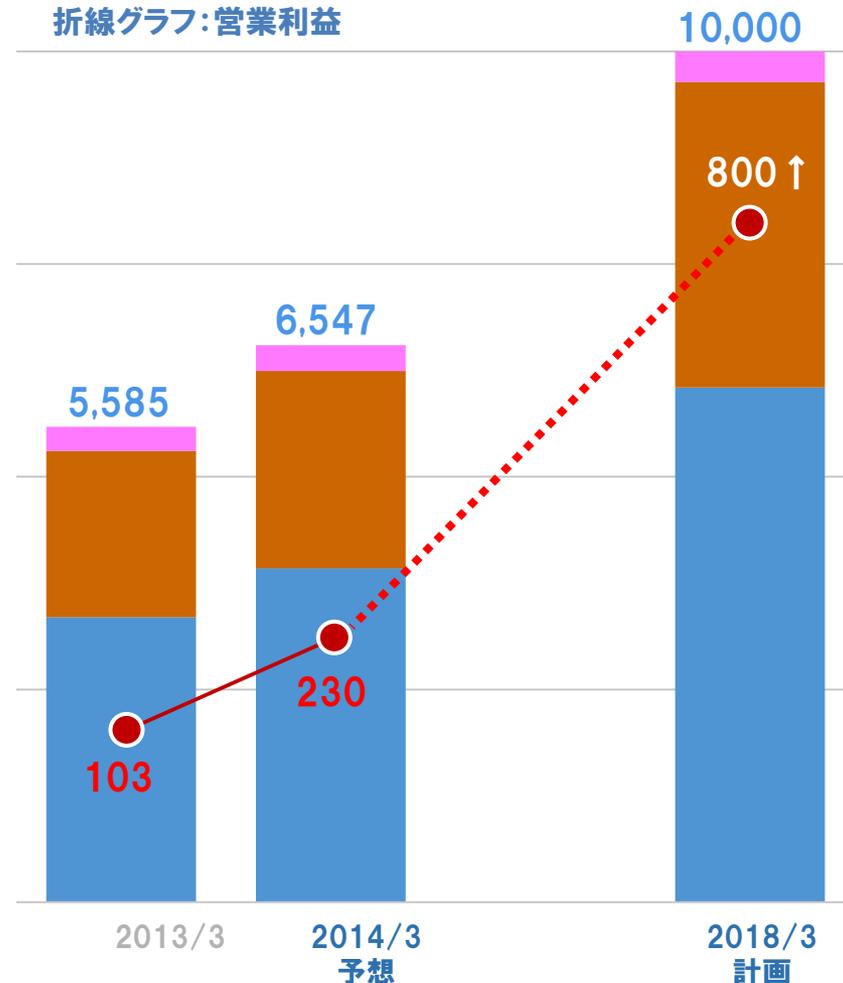
EPS	5.96円	11.50円
営業利益率(%)	1.8%	3.5%



2018/3 計画
10,000
6,050
3,590
360
800 + α
700 + α
600 + α

39円 以上
8%以上

棒グラフ : 売上高
折線グラフ: 営業利益



CODE : 7771



日本精密株式会社



日本の“ものづくり技術”を世界へ。

Watch Band & Glass Frame

本資料は、当社の事業の内容、並びに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り2013年9月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。